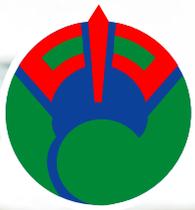


もっと 知ろう

みんなの議会



中城村

# ぎがいだより

題字：津覇小学校 3年 高橋 亜海



わたしたちが  
最初に走ったんだよ!!



Vol. **36**

写真  
第1回中城南小学校  
大運動会

# 第3回 6月定例議会

平成25年6月7日～6月14日

承認第1号

専決 平成24年度 中城村一般会計補正予算（第10号）  
分決 平成25年3月29日執行

## 予算 3,190万5千円

説明：中城南小学校のICT環境整備等による学習意欲学力向上推進事業  
(児童によるタブレット端末を活用した学習意欲、学力向上の確立を図る目的)



◀ 中城南小学校大城校長と桑江教頭がタブレット端末を囲みICT環境整備について説明をする。  
夏休み期間中、教職員の講習会を行い、2学期より子供たちへの授業を始めていく。

専決 中城村税条例の一部を改正する条例  
分決 平成25年3月30日執行

説明：地方税法の一部が改正されそれに伴い中城村税条例の一部を改正する必要性が生じた為。

改正の主項目

1. 納税環境整備に於ける延滞金、還付金加算金の利率の引き下げ
2. 個人住民税に於ける住宅ローン控除の期間延長及び拡充
3. 東日本大震災に係る被災者居住用財産の敷地に、譲渡課税特例で、相続人も特例の適用が受けられる措置など

専決 中城村国民健康保険税条例の一部を改正する条例  
分決 平成25年3月30日執行

説明：地方税法の一部が改正され、それに伴い中城村国民健康保険税条例の一部を改正する必要性が生じた為。

改正の主項目

1. 国民健康保険の被保険者に係る世帯別平等割額第4条の2に「特定継続世帯」が新たに付け加えられた。

平成24年度

承認第3号

一般会計繰越明許費繰越計算書の報告

承認第4号

土地区画整理事業特別会計繰越明許費繰越計算書の報告

承認第5号

水道事業会計予算繰越計算書の報告

同意第3号

監査委員の選任について  
伊佐 実氏

### 気になる議会のことば KEY WORD

#### 専決処分

議会の権限に属する事項について、町村長が議会に代わって意思決定を行うこと。ふたつの場合があり、地方自治法の規定による場合と議会の委任による場合がある。

#### 繰越明許費

予算成立後に年度内に支出し終わらないと見込まれるものについて翌年度に繰り越して使用する制度。

#### 同意

村長その他執行機関の行政について、一般的に議会の議決を要しないもの、重要なものについては執行の前提手続きとして議会に同意という形で関与する権限を与えられている。議会に修正権はなく、同意か不同意かいずれかの決定しかできない。

可決 議案第37号

平成25年度 中城村一般会計補正予算（第1号）

## 追加額 2,608万4千円 総額 58億1,202万5千円とする

住民生活課

海岸海浜浄化事業 委託金50万円

説明：自治会やNPOボランティアなどで海岸清掃したごみを村で回収運搬、処理する事業に対する補助的予算。

教育総務課

ごさまる学力パワーアップ事業 委託金10,33万2千円

説明：中学校における学習力向上のため、土曜日の講座、夏休み期間中の補習講座、定期テスト前の予備講座などを実施し、本村中学校生徒の学力向上を図る事業に対する補助的予算。

健康保険課

妊婦健康診査補助事業 補正減5,700千円

説明：今年度より年少扶養控除が廃止となり、その分、地方財源の税収を増やして財源処置する事となった。

可決 議案第38号

平成25年度 中城村公共下水道補正予算（第1号）

## 追加額 140万円 総額 3億5,153万円とする

上下水道課

各戸排水設備の公共下水道への接続工事費補助840万円

説明：今までの「融資制度」に加えて、「中城村公共下水道接続促進事業補助金交付制度」が、今年度から国の補助金制度を活用して始まります。対象は下水道供用開始区域内で、下水道へ接続工事を行う世帯・事業所です。

内 容		備 考
①村と融資契約をする金融機関から、借り入れした者に対し、一家屋一設備30万円以内とし、融資を受けた資金に対する利息は、村が負担する。		建物若しくは土地の所有者の名義が共有している場合については、共有者のうち1人に補助金を交付する。
②融資の利率は、村と金融機関との協議により定める。		
補助金額		
合併処理浄化槽を設置している建物	単独処理浄化槽又は汲み取り式便所を設置している建物	
補助対象工事費が5万円以上の場合	補助対象工事費が10万円以上の場合	
5万円	10万円	
補助対象工事費が5万円未満の場合	補助対象工事費が10万円未満の場合	
当該工事費の額	当該工事費の額	
当該工事費の額に1万円未満の端数は、これを切り捨てた金額。		

受付は、平成25年7月1日(月)開始です。

※質問者が会議録から要約した原稿を編集しています。

# 一般質問

村政を問う!

## 教育環境の課題



議員 金城 章

議員 本村の教育状況をどう考えているか。

**教育長** 本村の教育の課題は学力向上であり、全国水準に引き上げることが目標になります。県到達度調査で依然として全国水準に至っていない状況であり、学力向上の推進策を含め、琉大と連携協力し、教師一人一人の授業力の向上と学力向上に努め、資していきたい。

**議員** 教育において親の経済的な理由で、教育格差が生じると思うが、どう考え、対処をどう考えているか。

**教育長** 親の経済格差による教育格差ですが、その格差を埋めることは限界があり、難しいと思っております。学

力があるのに家庭の事情で進学が困難な人もおり、その様な人に手立てが必要だったと思っております。教育格差に対する村の対処として、要保護、準要保護児童生徒就学奨励事業にて本村では児童生徒の生活に困っている保護者を対象に、修学旅行費、医療費、学用品、学校給食費の補助を行い、保育料等の減免等を行っております。

## 河川氾濫と対処

**議員** 先月五月二十三日の豪雨で河川及び排水路の氾濫で村内各地で被害があり、毎回同じ箇所での氾濫が起きていると思うが、今後の対策と管理をどのように行っていくか。

**村長** 村もすっかりと体制を整えて、氾濫箇所含めて優先順位をつけ、対策を講じるように指示しております。

**議員** 急ぎ箇所から対処することだと思っております。議員 河川の氾濫は下流側の出口で詰まっている現状でおきているのではないかと、南浜、北浜、浜の公民館前の流末の整備対策はどう行っていくか。

**都市計画課長** 南浜、北浜は、道路の冠水がありました。原因が土地改良の堆積ということとを認識し、土砂は浚せつしてあります。それと河川口も優先順位をつけて整備を早目にやっております。

## 国の教育委員会改革



議員 新垣 徳正

議員 現行の教育委員会制度の大きな特徴が独立性であり、先の戦争の反省を踏まえ、教育が政治に左右されないよう中立性が保たれていくことだと認識するが、その事をどう考えるか。

**村長** 教育委員会の制度は戦後一貫して教育の政治的中立性と安定性を確保するために継続してやられているものと理解している。新たな中央行政改革においても政治的中立性は重要だという認識で取り組んでいきたい。

**議員** 中城苑の周辺も今度氾濫したと思うがどう対処するか。  
**都市計画課長** 中城苑の所は地主の同意が百%とれておりますので、すぐに対処してまいります。

**議員** 国による教育現場への指導の在り方が、高圧的でおかしいと感じている。この様な国の不当とも思えるような介入は今に始まったことではないが、たとえば、国旗・国家法にしても、一体どれ程の教職員がその制度に抗い、その職を奪われ、追い出されたのか。国旗も日の丸も、それ以上でもなければそれ以下でもない。問題はそれが、個人の思想だとか信条までも否定され、懲罰までも与えられる現実がこの国にはあるということ。国旗を掲げなければ罰せられる、君が代を歌いたければ歌えばいい、歌うものは善しとして、歌わないものは悪として罰するという、このような国の行為が問題なのです。「物言わぬ民

は滅びる」のごとく、何も言わなければ、いつか来た道をまた進むことになりかねません。私達は声をあげて国に訴えなければなりません。特に子供たちのためにも教育に携わる現場の教師、教育委員会、行政のトップが、確固とした信念を持ち、平和行政を敢行していくべきだと思えます。村長、教育長の見解を伺います。  
**村長** 思いは一緒だと認識します。平和を願わない人はいないと信じております。それを信じて頑張っております。  
**教育長** 悲惨な戦禍があった沖縄県であります。平和については重責を担い、平和教育の推進に邁進してまいりたいと思っております。

## 戦争遺跡の文化財指定



議員 新垣 博正

議員 村内には一六・八高地や津覇のトーチカ、津覇小学校のビロウなどの戦争遺跡が現存する。次世代へ伝える歴史的記憶及び記録として保存に向けて取り組む答弁を前教育長は引き継ぎ状況はどのようになっているか。

**生涯学習課長** 村条例には戦争遺跡指定としての条文がないので、トーチカは津覇のテラと一六・八高地はキシマコノ獄と同一場所にある史跡と一緒に指定保存し、ビロウの木は学校シンボルとして保存を検討する。

**議員** 歴史的史跡と切り離し『戦争遺跡』文化財として指定する考

えはないか伺う。  
**教育長** 戦争遺跡として貴重であり条例との関係を協議していきたい。

**認可外保育園への防音対策は**  
**議員** 米軍普天間飛行場周辺整備事業により、本村小中学校へは防音工事が施されているが、認可外保育園は対象外である。すこやかな保育環境を整える上からも公立学校並に整備する必要があると考えるが、早急に実態調査し関係機関へ要請すべきでは。

**福祉課長** 防衛施設周辺の生活環境整備等に関する法律で社会福祉法に該当する児童施設のみであり、認可外を追加していくには市町村長を中心に地域を挙げて要請する。

**ハートライフ病院からの騒音**  
**議員** 屋上設置の空調室外機の騒音を再三指摘してきたが全く改善

されてなく今朝も再発を確認しているが、改善経緯の説明を求める。  
**住民生活課長** 指摘のあった二号室外機は二月二十一日に病院側より修繕済みの報告を受けている。製氷用冷凍機の室外機が故障で騒音が確認されたが現在は停止している。稼働中の機器については一定の音は出るものではあるが、不快に感じるのであれば再調査し確認したい。



## 電磁波及び低周波振動問題



議員 宮城 治邦

議員 小児白血病や小児がん及び低周波振動等の健康影響についての認識を伺います。

**企業・観光課長** W H O や経産省等は症例数が少なく、精度が低い為、他の研究成果と一貫性がない等、関連は結論できないとしております。また、低周波音は物理的、心理的、生理的などの影響があると言われております。

**議員** 世界保健機関(W H O)の環境保健基準値を伺います。  
**企業・観光課長** 五〇〇μTでございます。  
**議員** 五〇〇μTは自然界におけるガイドラインであって、W H Oの新たな環境保健基準は平均〇・三μT、〇・四μT以上の磁界に日常的に照らさ

れる子供は、小児白血病にかかる確率が二倍程度に高まる可能性を認め公表しております。W H Oは新基準に基づき、各国に予防策をとるよう勧めております。経産省原子力安全・保安院は送電線の電磁波について健康影響を考慮し規制を検討する作業部会を設けております。W H Oの新基準への対応は今後この部会で検討することとなっております。(二〇〇七年六月十九日毎日新聞より引用)過去二回の電磁波測定の結果、W H Oの環境保健基準を超える数値が測定されているが、どのような対策が必要か伺います。

**企業・観光課長** 環境保健基準を超える測定値があれば調査し、その原因究明を行うために、沖縄電力と調整をしていきたく考えております。  
**議員** 吉の浦火力発電所が五月二十三日本格的に営業運転したが、電磁波

測定の予定はあるか。  
**企業・観光課長** 沖縄電力は平成二十五年七月に住民立ち会いのもとで実施を予定しているところでありあります。  
**議員** 吉の浦火力発電所から発生する諸問題等の影響を一番受けやすい地域を伺います。  
**企業・観光課長** 現在のところ難しいところですが、地元三者連絡会で話し合いたいと考えております。グラントフレアの不具合で起きた問題では最も影響を受けたのは久場と泊でありました。  
**導流堤排水路の維持管理**  
**議員** 県港湾課と維持管理と改善について、どのようなことが協議されているか伺います。  
**都市建設課長** 一月二十三日に県港湾課長、班長、中城村役場、沖縄電力で協議を行い、背後地は公有水面であり、県港湾課の管理で行うことを確認しました。

**議員** 農家の生産作物・生産量の把握はできていますか。  
**農林水産課長** 詳細な把握はできていませんが、県の資料や農協の出荷実績で把握は可能であります。  
**議員** 農協等に頼って農林水産課のほうで把握していないことは、地産地消のところではない。基本的なものがなければ、何も進まない。  
**農林水産課長** 今後、詳細な現状把握に努めていきたい。  
**議員** 農協・漁業組合との連携は、取れているか。  
**農林水産課長** 具体的な連携はとれていません。  
**議員** 各協議会をまとめて連携を図り、また補助事業導入に即対応

**議員** 農家の生産作物・生産量の把握はできていますか。  
**農林水産課長** 詳細な把握はできていませんが、県の資料や農協の出荷実績で把握は可能であります。  
**議員** 農協等に頼って農林水産課のほうで把握していないことは、地産地消のところではない。基本的なものがなければ、何も進まない。  
**農林水産課長** 今後、詳細な現状把握に努めていきたい。  
**議員** 農協・漁業組合との連携は、取れているか。  
**農林水産課長** 具体的な連携はとれていません。  
**議員** 各協議会をまとめて連携を図り、また補助事業導入に即対応

**議員** 農家の生産作物・生産量の把握はできていますか。  
**農林水産課長** 詳細な把握はできていませんが、県の資料や農協の出荷実績で把握は可能であります。  
**議員** 農協等に頼って農林水産課のほうで把握していないことは、地産地消のところではない。基本的なものがなければ、何も進まない。  
**農林水産課長** 今後、詳細な現状把握に努めていきたい。  
**議員** 農協・漁業組合との連携は、取れているか。  
**農林水産課長** 具体的な連携はとれていません。  
**議員** 各協議会をまとめて連携を図り、また補助事業導入に即対応

**議員** 農家の生産作物・生産量の把握はできていますか。  
**農林水産課長** 詳細な把握はできていませんが、県の資料や農協の出荷実績で把握は可能であります。  
**議員** 農協等に頼って農林水産課のほうで把握していないことは、地産地消のところではない。基本的なものがなければ、何も進まない。  
**農林水産課長** 今後、詳細な現状把握に努めていきたい。  
**議員** 農協・漁業組合との連携は、取れているか。  
**農林水産課長** 具体的な連携はとれていません。  
**議員** 各協議会をまとめて連携を図り、また補助事業導入に即対応

**議員** 農家の生産作物・生産量の把握はできていますか。  
**農林水産課長** 詳細な把握はできていませんが、県の資料や農協の出荷実績で把握は可能であります。  
**議員** 農協等に頼って農林水産課のほうで把握していないことは、地産地消のところではない。基本的なものがなければ、何も進まない。  
**農林水産課長** 今後、詳細な現状把握に努めていきたい。  
**議員** 農協・漁業組合との連携は、取れているか。  
**農林水産課長** 具体的な連携はとれていません。  
**議員** 各協議会をまとめて連携を図り、また補助事業導入に即対応

**議員** 農家の生産作物・生産量の把握はできていますか。  
**農林水産課長** 詳細な把握はできていませんが、県の資料や農協の出荷実績で把握は可能であります。  
**議員** 農協等に頼って農林水産課のほうで把握していないことは、地産地消のところではない。基本的なものがなければ、何も進まない。  
**農林水産課長** 今後、詳細な現状把握に努めていきたい。  
**議員** 農協・漁業組合との連携は、取れているか。  
**農林水産課長** 具体的な連携はとれていません。  
**議員** 各協議会をまとめて連携を図り、また補助事業導入に即対応

地産地消の現状は



**議員** 農家の生産作物・生産量の把握はできていますか。  
**農林水産課長** 詳細な把握はできていませんが、県の資料や農協の出荷実績で把握は可能であります。  
**議員** 農協等に頼って農林水産課のほうで把握していないことは、地産地消のところではない。基本的なものがなければ、何も進まない。  
**農林水産課長** 今後、詳細な現状把握に努めていきたい。  
**議員** 農協・漁業組合との連携は、取れているか。  
**農林水産課長** 具体的な連携はとれていません。  
**議員** 各協議会をまとめて連携を図り、また補助事業導入に即対応

朝市の活用を

**議員** 学校給食における地元食材の使用率は、  
**農林水産課長** 平成二十三年が五・七%、平成二十四年が十一・三%。納入農家も六名から二十一名になり、十六品目から二十三品目が増えており、朝市の開催以降着実に地元食材の使用率は上昇しています。  
**議員** 農林水産課、給食センターの職員の頑張りに感謝します。目標使用率三十%にするために何が足りないか。  
**農林水産課長** 専属のコーディネーターがいれば成果が上がると思います。  
**議員** 農林水産課・給食センターが連携して、今頑張っている職員を研修会等に派遣して育てる。職員が足りなければ補充

集落環境の整備



**議員** 奥間中央線(公民館前)側溝が、集中豪雨のたびに道路冠水が起き、住民生活に支障を来しております。要因として、中央線道路を横断する直線排水路の廃止に起因する布設工事に構造的な欠陥があると考えるがどうか。  
**都市建設課長** 時間降雨量で過去最高の雨量が原因と思われる。宅地内への冠水もありますので、今年度で改善をします。  
**議員** 給食センター裏側に接続する海平線途中の橋の下排水路が未整備の状況で、下流向けのセンター裏までは私有地が排水路化している現状にあります。また、橋の上流側につ

広域火葬場

**議員** 候補地も本村から四候補地ほど出させて頂きました。協議会の中で場所の選定とか決まってくると思います。  
**企画課長** 去る六月四日に第一回計画地選定委員会を開催しております。今後、候補地比較表の各検証項目及び総合的評価の内容について、建設検討委員会に対し審議した内容が報告される予定です。  
**議員** 候補地が選定、決定される時期の見通しは。  
**企画課長** 八月頃策定される予定の基本構想、基本計画の中で示されるものと考えます。

中城南小学校の現状と課題



**議員** 開校して約二ヶ月、現状と課題等を伺います。  
**教育総務課長** 子供、保護者、地域住民、教職員、みんなが誇りを持って美しい学校作りに取り組んでおります。登下校時の交通安全指導を行っています。保護者による読み聞かせ、朝の読書タイム等を行っています。課題として朝の二番バスの定員増や運動場の芝生の維持管理、遊具等となっております。  
**議員** 朝の二番バスが定員増となっているが現状と、これからの対応を伺います。  
**教育総務課長** 四十名乗りで現在五十名くらい乗っており、大型バスに変更して運行する

**議員** 遊具について伺います。  
**教育総務課長** 遊具の設置を検討していきたい。  
**議員** 学校の大きな行事(運動会)等の送迎バスの運行を伺います。  
**教育総務課長** 学校と



▲運動場と校舎の様子(7月撮影)

交通安全

**議員** 南上原中央線、北線のガードレール設置について伺います。  
**都市建設課長** 小学校前カーブなどは防護柵の設置をしなければならぬと考えています。  
**議員** 小学校前の歩道について伺います。  
**住民生活課長** 歩道の切り下げの協議、確認をしております。

要請・要望事項への対応



**議員** 毎年各自治会より要請・要望事項が出されていますが、その対応処理はどのようにしているか。  
**都市建設課長** 要請現場の確認を行い、課内で協議して優先順位を決めて対応している。また、自治会からの要望に対しての回答は、平成二十四年度から文書で行っている。  
**住民生活課長** 苦情処理等も含め、台帳で管理している。  
**企画課長** 現在、各種要請書等は各担当課において受付処理されている。自治会総会等で決議された要望事項を含め村長名での回答の要請があった場合は、文書による回答をして

**議員** 登又自治会より平成二十三年六月八日付で提出された公民館前より「野の花」センターの農道新設については、どのような方面への農道新設については、どのようになっているか。  
**農林水産課長** 現在、農水省補助での農道整備には、農山村活性化プロジェクト交付金事業があるが、この事業を採択するには費用対効果、いわゆる経済効果を総合的に検討する必要がある。現地を踏査した限りでは費用対効果は期待できない状況にあり、現時点での事業採択は困難である。  
**県の天然記念物フタオチヨウ**  
**議員** 去る五月の登又自治会総会で、県の天然記念物「フタオチヨウ」が登又地域に数多く生息しているということで、自治会の蝶に指定することが決議さ

されたが、村としても検討してはどうか。  
**企画課長** 中城城跡周辺はフタオチヨウの有数の生息地と言われており、自治会の蝶として指定したことは、その生息環境の保全にも繋がる素晴らしい取り組みだと思ふ。村の蝶としての指定については、村民意識調査、選定委員会からの設置やその委員会からの答申等段階を踏む必要があると思われる。  
**その他、「歴史資料図書館建設」についての質疑もありました。**  
**議員** 登又で生息が確認されたフタオチヨウ

教育行政



新垣 善功 議員

議員 新しく教育長に就任されましたが、今後の中城村の教育はどうあるべきか、教育長の抱負について伺います。

教育長 中城村の教育理念「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」などをバランス良く育成するため、家庭や地域と連携しながら学校の教育力の向上を図り、信頼される学校づくりの推進に努め、子供たちの夢や希望の実現に努めるとともに、村民の期待にこたえられる教育行政を推進して行きます。

議員 教育長は教育委員会の事務方のトップです。あなたの方で村の教育が良くなるか悪くなるかがか

村民の健康づくり

議員 村民の健康づくり推進について、どのような考え（計画）をもっているのか、そして具体的な実施計画は策定されているのか伺います。

村長 村民の健康づくりの推進については、村の重要課題だと思っております。真摯に耳を傾けてこの問題に取り組んでいきたいと考えております。

健康保険課長 計画については、第四次総合計画の中で「村民だれもが健康に暮らせる村」をめざして健康づくりを推進していきたい。

議員 健康事業については、「健康中城21及び第二期特定検診等実施計画書」を作成中です。

特定検診の無料化

書」を作成中です。

議員 特定検診の受診率については、まだまだと言いますが、受診料の無料化及び人間ドックの受診料の軽減をすれば受診率も国の目標基準に近づくと思います。ある市町村では、特定検診を無料化し、役場に来所したついでに役場で受診できる様実施しているところもある様です。本村では役場はもとより、サンエー内にも受診所を設けてやれば受診率向上につながると思います。

以前は人間ドック受診料は五千円負担であったが、現在は一万二千円となっているのも受診率に影響していると思いますので、早期発見、早期治療により治療費の抑制にもなると思いますので、ぜひ前向きに検討願いたい。

水道給水装置と料金表の整合性は



仲眞 功裕 議員

議員 給水条例の第四条で定める三種類の給水装置、専用給水装置、共用給水装置、私設消火栓と、第二十七条で定める料金表の整合性はあるのか。共同住宅への供給装置はどれに相当するのか。

副村長 共用給水装置とは二世帯以上で共有するものという設定になっている（従って共用給水装置に相当する）。

議員 事務引き継ぎさえ受けていない。これこそ行政の怠慢、完全な議会無視ではないのか。議場で言わせておけばそれでいい。そういうことにしかならない。これは行政の議会軽視・不作為と捉えざるを得ない。

議員 上下水道課長は、

料金に格差が生じないよう料金表は給水装置の種類ごとに決めている。中城村は、家庭用とだけ区分しているため共同住宅に水道料金の格差を生じさせている。

議員 これは大変なことですよ。格差は認識するが、条例を改正すれば収入が約一、六〇〇万円減少するので、条例の改正を先延ばししてその一、六〇〇万円は共同住宅の設置者、結局はその居住者に過負担を強いる事であり平等ではない。収入源を確保するために一部の者に過負担を強いられるのは普通の地方公共団体の姿勢ではない。私には理解できない。

発電所に隣接する水路と周辺環境問題



安里 ヨシ子 議員

議員 導流堤排水路の維持管理について責任が曖昧、どこに責任があるか。

議員 導流堤排水路の泊地先は砂が堆積し水が流れないため淀んで悪臭があります。改善の実施計画はありますか。

都市建設課長 泊地先の排水路流末については、流末側の土砂堆積をしゅんせつすることにより解決する。県港湾課、村、電力の協力で対応していきたい。

議員 発電所周辺、泊、久場における地域振興計



▲ 泊地先の排水路流末。砂が堆積して水の流れが止まっている。

画の中で住民から出された意見として、発電所からの生活環境への影響軽減から景観保全へ配慮し、豊かな緩衝地帯を整備すべきとの意見があります。地域住民にとって必要不可欠な願いと考えますが、当局はどのように考えますか。

企業・観光課長 緑地帯の整備については、発電所構内にマウンド式の緑地帯を造成しています。生活環境、景観対策として樹木植栽により気温の緩和、大気浄化、四季性、精神的安らぎ等、生活環境保全機能としての効果が期待されていると伺っています。住民の

景観保全への不安払しょくを図るための既存の発電所の状況も調査し、専門的な意見も聞いて検討できるものと考えます。

議員 平成十四年、電力の誘致問題がもたらした時、村のカンフル剤だと村行政をはじめ、村議会でもいち早く誘致決議をした。電力の問題に関しては、地域の街づくりなど諸問題が山積しています。誘致決議をしたからには皆で考え協力してほしい。誘致した村も企業にかかわる諸問題をきちんと解決するのが村行政の責任だと思います。皆で考え安心安全な街づくりを力を合わせられたらと願っています。

6月定例会 意見書及び抗議決議が下記のとおり

採択

意見書第五号 米空軍嘉手納基地所属F15イーグル戦闘機の墜落事故に対する意見書

〈提案理由〉 五月二十八日午前八時三十分ごろ、米軍嘉手納基地所属のF15イーグル戦闘機一機が国頭村安田の東南約五九キロ沖の訓練海域で訓練中、海上に墜落する事故が発生した。このような戦闘機が我々の頭上を飛び交い、激しい爆音を轟かせながら訓練を繰り返すことに、我々県民は到底看過できるものではない。

意見書要旨

- 一、F15戦闘機を含め、一切の戦闘機の全面飛行を中止すること。
二、事故原因の徹底的な究明と事故原因の公表。
三、F15戦闘機を含め、すべての戦闘機部隊は嘉手納基地から撤退すること。

決議第三号 米空軍嘉手納基地所属F15イーグル戦闘機の墜落事故に対する抗議決議

〈宛先〉 駐日米国大使・在日米軍司令官・在沖米国防総領事・在日米軍沖縄地域調整官 嘉手納基地第十八航空団司令官

決議第四号 日本維新の会共同代表橋下徹大阪市長の暴言に対する抗議決議

〈提案理由〉

去る五月十三日に、日本維新の会共同代表・橋下徹大阪市長は、「第二次世界大戦当時は慰安婦制度が必要だった」との発言をした。この発言は、米軍幹部に対する発言も含めて、女性をはじめ多くの人々の人権を侵害するものである。

〈抗議決議要旨〉

- 一、従軍慰安婦問題での発言を撤回すること。
二、全ての女性と元慰安婦に対し心からの謝罪をすること。
三、米軍人による性犯罪被害者と沖縄県民に対し心からの謝罪をすること。

〈宛先〉

日本維新の会・日本維新の会共同代表・大阪市長 橋下徹

### 奥間公民館前の冠水



奥間中央線の側溝が集中豪雨のたびに道路冠水がおき、住民生活に支障をきたしている。道路排水が側溝から溢れ、道路面より低い住宅地へ流入する。早急な排水路の改善が必要である。

### 国道329号線安里の冠水

国道329号線、安里バス停付近からファミリーマート付近にかけて冠水がおき、一部の歩道は境目も分からないほど水かさ上がった。川の水は溢れ排水能力が低いのは明らかである。本道は本村は元より本県にとっても交通の要であり改善の必要性がある。



安里バス停付近



ファミリーマート前

行きました 見ました やってみます



### 当間海岸の排水管

当間地内高江洲屋取地域は海岸排水口に蓋がないため、台風・大雨のたびに道路冠水がおこり日常生活に支障をきたしていたが、今回の豪雨では、排水溝の蓋が改善され、冠水が起きていません。



### 安里集落内交差点（吉の浦会館近く）

安里中央線と潮垣線の交差点は、道路標示がはっきりしない上に信号機の無い交差点で、徐行・一時停止の道路標識も無い。潮垣線が優先となっているが、安里中央線の側道が歩道になっているため、優先道路と間違ってしまう。優先道路の道路標識等の改善が必要である。



### 和宇慶バス停の信号機移設



国道329号線より和宇慶・南浜・北浜の集落内に入出口の信号機の設置場所がずれ、車両感应（センサー式）信号機になっていないため、信号機が機能していない。集落内から国道（特に右折）への進行を阻害している。国道事務所、警察署との調整を行い、早急に移設が必要である。

### 浜線の排水路氾濫



奥間から浜へ流れる浜線の排水路が、豪雨の際、氾濫し排水路の蓋が浮き上がり道路冠水が起き非常に危険な状態となった。側溝蓋の浮き上がらないよう即脱側溝蓋の改善が必要である。

今回のありんくりん確にんは前号に引き続き中城村に潜む道路の危険性を取り上げています。前号は上地区（通称うへばり）にピックアップして取り上げましたが、今号は下地区（沿岸・平坦地域）の安全性が問われているポイントを紹介いたします。

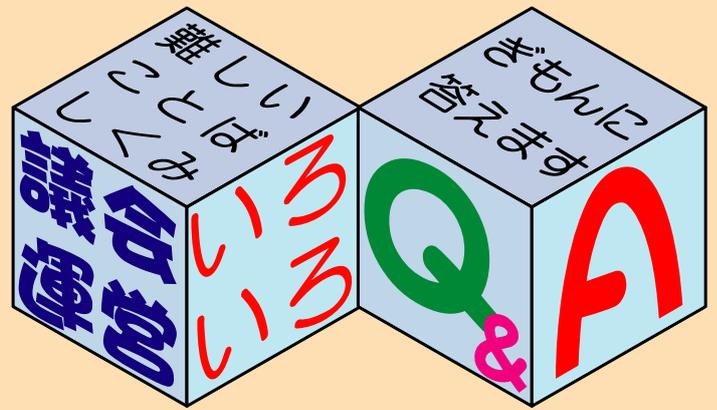
下地区編

# 中城の道路と河川の安全



# 一般質問のしくみ

定例議会で行われる一般質問は  
どういう仕組みで開かれるのか教  
えて下さい。



議事録  
いろいろ  
Q & A

う方法と会期末に行う方法があり中城村議会では  
主に会期末に行うことが慣例となっている。

議題とは関係なく行政全般にわたる議員主導に  
よる政策論議である。質問する議員、受ける執行  
機関（村長、副村長、教育長、課長等）ともに十  
分な準備が必要なため「通告制」が採用され、議  
員は締切日までに質問原稿を提出することとなっ  
ている。「行政全般について」とか「教育行政全  
般について」というような具体性に欠ける質問は  
受理されない。執行部も万全の準備を整え的確な  
答弁ができる体制を作るからには、議員にも議論  
がかみ合う具体性のある質問要旨が求められる。  
質問時間は答弁する時  
間を含めず三十分以内  
となっている。



一般質問は、三月、  
六月、九月、十二月  
の定例会に行われ、臨時会  
は行わない。会期の始めに行



## 編集後記

立秋もすぎたとは言え、まだまだ酷暑が続く長期にわたっての少雨傾向に農家の皆さんには、農作物への被害も発生し大変なご苦労をなさっていると思います。毎日空を眺めては大粒の雨を期待する今日この頃ですが、空から降りたのは、降雨ならぬオスプレイだった。去る八月二日、臨時議会で「MV22 オスプレイ追加配備に関する抗議決議」と「意見書」を全会一致で採択した矢先の翌三日、二機がまたもや強行配備され、五日には残る十機の追加配備が強行される予定であった。沖縄の民意を踏みにじる日米両政府の行為は、断じて容認できないものではない。

五日に野高ゲート前での抗議行動に参加している際に、米軍ヘリがキャンプハンセンに「墜落」したとの一報が入ってきた。日米地位協定の壁に県警の現場検証・地元消防の活動等はゲート入り口でシャットアウトされ、九年前の沖国大構内への墜落時同様、米軍は現場封鎖をするというまさに治外法権がまかり通る有様である。復帰後の県内での米軍機の墜落事故がこれで四十五件目となり、世界一危険な島と化した。昨年の配備反対県民大会の、ある共同代表の取材記事（三日付新報）で「県民の怒りが爆発する日が近づいていることを両政府は自覚しないといけない」との憤る声に、一瞬あのコザ暴動を彷彿とした。

（伊佐 則勝）

## 編集委員



伊佐 則勝	新垣 光栄	新垣 博正	金城 章	新垣 徳正
-------	-------	-------	------	-------

題字募集!

「ぎかいだより」の題字の募集をします  
(ぎかいだよりの文字を横書きと縦書き)

中城村の児童・生徒のみなさん、上手いも下手も関係ありません! あなたの字のままでいいです

お問い合わせは中城村議会事務局 (☎895-4318) まで